

東京医師アカデミー クリニカルフェロー

膠原病難治病態コース 募集要項

1) 応募資格	平成31年4月時点で6年以上の医歴があり、以下のすべての要件を満たしている方 ①膠原病専門診療を既に3年以上行っていること ②日本リウマチ学会学術集会にて発表(筆頭)が3演題以上、国際学会での発表(筆頭)が1演題以上あること
2) 募集人員	1名程度
3) 所属先	東京都立多摩総合医療センター リウマチ膠原病科
4) 研修期間	3年間
5) 選考日	平成30年10月26日(金)(予定)
6) 選考会場	応募者に直接連絡いたします。
7) 選考方法	個別面接(20分程度)、口頭試問(20分程度)
8) 合否連絡	選考後3週間以内に合否をご本人にご連絡いたします(合格通知後1週間以内に誓約書の提出をお願いいたします)。
9) 応募方法 提出書類	以下のものを申込期限までに下記 11)の申込先に郵送すること ① 応募用紙兼履歴書 ② 医師免許証の写し ③ 認定医・専門医等の資格証明書の写し ④ 推薦状2通 ⑤ 日本リウマチ学会、国際学会で発表した演題名と抄録 ※提出いただいた書類はご返却できませんので予めご了承下さい。
10) 申込期限	平成30年10月5日(金)必着
11) 申込先及び 問合せ先	〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号 東京都庁第一本庁舎24階中央 病院経営本部経営企画部職員課医師アカデミー担当 (電話)03-5320-5861
12) コース内容 に関する 問合せ先	杉井 章二 (東京都立多摩総合医療センター リウマチ膠原病科部長) (電話)042-323-5111(代表)
13) 備考	選考日当日は、医師免許証の原本を持参すること。

膠原病難治病態コース

主たる研修病院 (所属病院)	東京都立 多摩総合医療センター	
連携して研修する病院・施設(予定)	特になし	
研修時に必要とする知識・技量 (応募資格)	平成31年4月時点で6年以上の医歴があり、以下のすべての要件を満たしている方 ①膠原病専門診療を既に3年以上行っていること ②日本リウマチ学会学術集会にて発表(筆頭)が3演題以上、国際学会での発表(筆頭)が1演題以上あること	
コース 責任者	氏名(所属)	杉井 章二 (東京都立多摩総合医療センター リウマチ膠原病科)
	資格名	リウマチ専門医・指導医 総合内科専門医
	専門分野	リウマチ膠原病
臨床指導体制	①毎日平日朝の病棟回診と症例検討会 ②毎日平日夕方のグループ症例検討会 ③毎週火曜日、臨床研究カンファレンス ④毎週水曜日、抄読会 ⑤第3金曜日、リウマチ整形との合同症例カンファレンス ⑥第4金曜日、リウマチ外来症例カンファレンス グループ診療にて各グループに上級指導者がおり、さらにその上にスーパーバイザーがいるかたにの多層教育システム採用している	
臨床研究	これまで 行ってきた 研究と実績	①関節リウマチ患者の救急医療の疫学 ②RAPID3を用いた疾患活動性の有用性 ③ヒドロキシクロキンの有用性・安全性に関する研究 ④側頭動脈生検の有用性と安全性に関する研究 ⑤MDHAQを用いた関節リウマチ患者のQOLに関する研究 ⑥アザルスルファピリジンの感染予防効果に関する研究 ⑦関節炎の炎症マーカーの関連に関する研究 ⑧膠原病患者の妊娠・出産に関する研究 以上の研究により年間20演題上の学会発表、5本以上の英文論文が実績としてある
	今後行う 研究と 研究体制	①全身性エリテマトーデスの緊急病態と救急医療における危険因子の解析、 ②全身性エリテマトーデスの中枢神経病変の症状と治療の疫学、 ③強皮症に合併する間質性肺炎の治療と予後、 ④強皮症に伴い肺高血圧の治療と予後、 ⑤皮膚筋炎の筋病理、 ⑥皮膚筋炎に合併する間質性肺炎の治療と予後、 ⑦各種リウマチ性疾患における関節エコーの有用性、 ⑧シェーグレン症候群の臓器合併症の疫学とリスク因子、 ⑨多剤抵抗性関節リウマチの疫学とリスク因子、 ⑩膠原病患者の妊娠・出産の疫学、 ⑪若年期(13歳～20歳)のリウマチ膠原病の臨床病態、 ⑫血管炎における筋生検・側頭動脈生検の意義、 ⑬リウマチ性多発筋痛症におけるステロイド治療の標準化 毎週の臨床研究カンファレンスを通して臨床研究を行う。このカンファでより精度の高い臨床研究が可能となる
研修項目	①各種膠原病の難治病態診療と臨床研究 ②臨床研究の立案・計画・実施と論文化 ③リウマチ膠原病診療の若手医師への教育	
研修内容・達成目標	①英語論文1本以上 ②レジデントの指導(リウマチ膠原病診療の診察・診断・治療について)	
コース内容に関する 問合せ先	杉井 章二 (東京都立多摩総合医療センター リウマチ膠原病科部長) TEL:042-323-5111(代表)	